

令和7年度 第2回 人権教育研究部研修会

令和7年度8月6日（水） 浜北文化センター

〈午前の部 研究部主催研修会〉

1 顧問校長挨拶 浜松市立篠原小学校 今田 徹校長先生

市教研のホームページにこんな子供の作文が載っていた。楽しいことや大変なこと、いろいろなことがあるが、今は楽しいことが多い、という内容であった。どんな子供たちもつらいことより、楽しいことが多いと感じる世の中になってほしい。今日は、講師の河合先生の講義を聞いて、「人権擁護」について考えていきたい。また、後半は、人権擁護委員の皆さんと情報交換をし、交流を深めてもらえればと思う。

2 講話「人権擁護委員を務めて」

講師 浜松市人権擁護委員連絡協議会 会長 河合 洋子 氏

今日は8月6日。広島に原爆が落ちた日である。今日は、人権について考えるととても重要な日だと感じる。

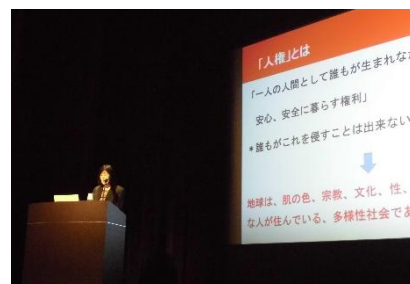
「人権」とは、誰もが幸せに安心して暮らす権利のことである。1948年、世界人権宣言が国連で採択された。全ての人が差別されず、尊重されて生きていくべきであるということが、世界各国に示された。

浜松市の人権擁護委員は、委員数61名で活動している。具体的には、次のような活動をしている。

- ① 人権啓発活動…人権教室、各種イベント（人権フェスティバル、人権作品募集など）
- ② 人権相談…常設相談、電話相談、子供人権 SOS ミニレター、こども人権110番など
- ③ 調査、支援、救済…法務局、行政警察、法テラス、自治会などとの連携

今年最も力を入れているのは人権教室。紙芝居やDVD、人形などを使って、命の大切さやいじめの解消等について考える機会を設けている。地区毎に開催しているので、地区の人権委員に連絡をしてぜひ実施してほしい。

現在、静岡県では人権課題を18項目に分類して取り組んでいる。「いじめ」「外国人」「障害」「高齢者」など、様々な人権問題に取り組んでいる。「誰か」のことではなく、自分のこととして考えてほしい。一人一人の心遣いが、人権を守ることに繋がっていく。学校全体、地域全体で人権問題を解決し、生まれたきた子供がみんな幸せになる世の中を作っていきたい。



3 全体会閉会とお礼のことば 浜松市立浅間小学校 鈴木 啓二校長先生

人権についての考え方、人権擁護委員さんの活動などについて、詳しく教えていただいた。世の中の人権意識が年々高まっているのを感じている。本校では、教員に対しても、人権研修を行っている。この後の人権擁護委員の皆さんとの懇談を通して感じたことを自校に持ち帰り、教職員の人権意識も高めてもらいたい。

4 各地区の人権擁護委員の皆さんとの情報交換

人権擁護委員の皆さんと顔合わせ

以上